

ツバメがやってきた

今まで気に留めていませんでしたが、畑にもツバメがきていました。

畑を飛び回るツバメ

9月の中ごろ、早いスピードで飛び回っている鳥が目立つようになってきました。長くて2つに分かれた尾羽と、スリムな体からツバメだろうと思いましたが、後から見ると腰の部分がオレンジ色で、よく知っているツバメとは少し違うようです。素早く飛び回るので、写真をとってもブレたものが多かったのですが、その中から映りの良いものを見ると、「コシアカツバメ」のようです。



9月中頃には、たくさん飛んでいましたが、9月の終わりになると、見かける数も少なくなってきました。越冬のため、南方に渡っていったのでしょうか。

8月に見かけたツバメ

8月の初めのころにも、ツバメの群れが畑で飛び回っていたので、この時の写真を改めてよく見ると、顔に赤みがあり、胸は真っ白で、尾羽に白い筋があるのがわかります。どうやらこちらは、「ツバメ」のようです。



ツバメの種類

ツバメは、スズメ目ツバメ科ツバメ属に分類される鳥で、日本では、次の5種類が見られます。

- ・ツバメ 日本では最も普通に見られるツバメ。
- ・イワツバメ ツバメより尾が短く、少し小さいツバメ。腰や喉元が白いです。
- ・コシアカツバメ 腰の部分が赤いのが特徴で、ツバメよりも少しだけ体が大きいです。
- ・ショウドウツバメ 崖などに小さな穴を掘って巣をつくります。北海道。北東北で繁殖します。
- ・リュウキュウツバメ 奄美大島以南に留鳥として分布しています。

どのツバメも、飛行中に口を大きく開けて、昆虫類を捕食します。

ツバメは、体のわりに長い翼をもっています。長い距離の渡りをするツバメにとって、長い翼は滑空飛行をするときの気流の乱れが小さくなり、有利なためと言われています。ただこの長い翼の為、ツバメは羽ばたくことが苦手で、地面からは素早く飛び立つことができません。そのためツバメはあまり地面に降りないし、水を飲むときでも飛びながら飲むのではないかと考えられています。

9月の終わりに

9月28日ころから、一回り小さなツバメが飛び交うようになりました。小さいうえに、ツバメやコシアカツバメより少し高いところを飛んでいるので、写真が撮れていません。どのツバメかわかるくらいの写真が撮ればいいのですが。